PRESSRELEASE

SHIONOGI

2026 年 11 月 18 日

会　社　名　塩野義製薬株式会社
代 表 者 名　代表取締役会長兼社長 CEO　手代木　功
（コード番号　4507　東証プライム）
問 合 せ 先　コーポレートコミュニケーション部長　京川　吉正
TEL. 06-6209-7885

米国 IntraBio 社の買収完了について

塩野義製薬株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役会長兼社長 CEO：手代木 功、以下「塩野義製薬」または「当社」）は、2026 年 10 月 5 日に公表した「米国 IntraBio 社の完全子会社化[1]」に関して、本日、当社の米国グループ会社 Shionogi Inc.（本社：米国ニュー・ジャージー州）が IntraBio Inc.（本社：米国テキサス州、以下「IntraBio 社」）の買収を完了したことをお知らせします。

本買収により、ニーマン・ピック病 C 型（NPC）の神経症状および毛細血管拡張性運動失調症（A-T）の運動失調に対する治療薬である AQNEURSA®ならびに希少疾患における新たな専門性・ケイパビリティを獲得し、グローバルでの希少疾患への取り組みをさらに拡大します。

AQNEURSA は、NPC の神経症状に対する治療薬として、米国で体重 15kg 以上、欧州で体重 20kg 以上の成人および小児患者に対して、それぞれ 2024 年 9 月に米国食品医薬品局（FDA）、2026 年 1 月に欧州医薬品庁（EMA）に承認されています。

また、2026 年 9 月には FDA より、体重 15kg 以上で毛細血管拡張性運動失調症（A-T）と診断された成人および小児患者の運動失調に対して、初めてかつ唯一の治療薬として承認されました。現在、AQNEURSA は A-T と診断された成人および小児患者を対象として EMA による審査中です。

さらに、CACNA1A 関連疾患を対象とした無作為化・プラセボ対照・二重盲検・クロスオーバー第 3 相試験も実施されており、当社は IntraBio 社が開始したプログラムを継続するとともに、その他の希少疾患における AQNEURSA の可能性についても、今後検討していきます。

代表取締役会長兼社長 CEO の手代木 功は次のように述べています。

「IntraBio 社の買収完了により、AQNEURSA を当社のポートフォリオに加えるとともに、希少疾患における新たな専門性を獲得し、当社のグローバルでのケイパビリティをさらに強化することができました。塩野義製薬は約 150 年にわたり、患者さまの変化するニーズに対応しながら事業を成長させてきました。今回の買収は、患者さまの健康と健やかな生活を守るために革新的な医薬品を届け続けるという、当社の変わらぬ姿勢のもと、希少疾患への取り組みをさらに拡大していくというものです。」

A-T Children's Project Founder の Brad Margus 氏は、次のように述べています。

「SHIONOGI グループのチームとの連携を楽しみにしています。A-T を対象とする初の治療薬である AQNEURSA が最近米国で承認されたことは、多くのお子さんとそのご家族に希望をもたらしました。SHIONOGI グループが有する幅広いネットワークとリソースが加わることで、より多くの A-T 患者のご家族がこの治療にアクセスできるようになることを期待しています。」

National Niemann-Pick Disease Foundation Executive Director の Heather Teal 氏は、次のように述べています。

「ニーマン・ピック病のコミュニティにとって、今回の買収は、NPC 患者さまとそのご家族のためにこれまで築いてきた進展をさらに前に進める機会です。AQNEURSA の承認を実現し、私たちのコミュニティを支援してくださった IntraBio 社に深く感謝しています。SHIONOGI グループと協力し、アクセスを拡大するとともに、この重要な治療法を必要とするご家族へ確実に届けていけることを期待しています。」

塩野義製薬は、2026 年 4 月に筋萎縮性側索硬化症（ALS）治療薬 RADICAVA®（edaravone）のグローバルでの権利を取得[2]して以降、神経変性疾患に対する専門性を蓄積するとともに、希少疾患における強固な販売およびメディカルアフェアーズなどの基盤を構築してきました。今回、IntraBio 社を当社グループに迎えることで、新たな専門性とケイパビリティを加え、構築してきた基盤をさらに強化し、希少疾患における取り組みを拡大します。さらに、現在進めているポンペ病、脆弱 X 症候群、Jordan's syndrome の臨床開発プログラムや、その他の希少神経変性疾患に対する初期段階のプログラムを含む希少疾患パイプライン全体の開発も一層推進していきます。

なお、本件が 2027 年 3 月期連結業績に与える影響については、2026 年 10 月 29 日に公表した修正後の連結業績予想に織り込んでいます。

以　上

参考：

1. プレスリリース：2026 年 10 月 5 日
   米国 IntraBio 社の完全子会社化に関するお知らせ
2. プレスリリース：2026 年 4 月 2 日
   エダラボン事業の承継完了および Radicava 事業会社設立に関するお知らせ

[お問合せ先]

塩野義製薬ウェブサイト お問い合わせフォーム：

https://www.shionogi.com/jp/ja/quest.html#3.